

このニュースレターの主な掲載情報:

- ・ グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- ・ BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- ・ 資産運用や人生設計に役立つ情報
- ・ 知っておくと得するホットな情報

投信コストが、運用成績のほとんどを食うって本当？

果たして、証券会社や銀行が盛んに勧める積極運用型の投資信託は、買うに値する商品なのでしょうか。そこで、日本株の積極運用型投資信託のコストとリターン、日経平均などの株価指数(市場リターン)との関係をみてみましょう。

積極運用型投信は、株価指数に連動する投資信託ではなく、企業を調査分析し選択して、これらの株価指数の動きを上回ろうとする投資信託のタイプです。証券会社や銀行が勧める投資信託のほとんどが、このタイプの投資信託といってよいでしょう。

そこでコストを計算する上で、コスト・手数料を以下のとおりとします。

ポートフォリオ回転率を100%として(組入株式が1年ですべて入れ替わる)

- ・取引コスト(組入株式の売買手数料と売値買値の差)が買い1%、売り1%。
- ・積極運用型の運用手数料1.7%

すべてを合計すると、コスト・手数料は3.7%となります。また保有期間を3年として販売手数料(3.15%とする)を含めると、コストは約1%プラスの4.7%となります。ここで企業年金連合会の国内株式想定リターン5%を市場リターンとすると、日本の積極運用型株式投信は、コスト(3.7%~4.7%)が市場リターン5%のほとんどを食いつぶすこととなります。



逆に、日本のアクティブ型株式投信が市場リターンを上回るためには、8.7%~9.7%以上のリターンを上げなければならないこととなります。証券アナリストジャーナル8月号に「2000年代を通して存在する日本の積極運用型株式投信について、継続して市場リターンを上回るファンドは皆無だった。」とあるように、市場リターンを上回るコスト控除後リターンを長い間上げることは極めてむずかしいことがわかります。

これらのことを考慮すると、信託報酬などのコストが安い指数連動型投資信託(インデックスファンド)を購入するのが、無難で安心できる金融商品ということがいえるでしょう。

インデックスファンドは、市場リターンを上げることを目指し、販売手数料がゼロだったり、信託報酬が0.1%~0.7%程度で、組入れ資産の取引コストも抑えられ、積極運用型投信に比べ、コストが運用パフォーマンスの足を引っ張る度合いがかなり低くなっています。

長期間経たなければ、市場平均を上回ったかどうかかわからず、またほぼすべての投信が市場リターンを上回る結果になっていない積極運用型投信を購入するより、コストが低いインデックスファンドを購入の方が賢明な選択といえるでしょう。

領土問題に思う

李明博韓国大統領の電撃的竹島訪問には驚きました。一国のトップが、日本の強い反発が予想される中で、竹島を訪問しあそまでのパフォーマンスをするのかとあきれられる思いでしたが、それに対する日本政府の反応は、今回も十分とはいえません。

また、尖閣諸島に香港の活動家が上陸を強行し、これに対し日本政府は強制送還という措置をとりましたが、この措置については甘いのではないかと、公務執行妨害、器物損壊などで逮捕すべきだったという声が、国民から上がっています。

北方領土問題を含めて感じることは、どうも日本政府の反応が鈍い、あるいはおとなしすぎるということです。このような対応の背景には、戦後長い間日米安保体制の下、米国におんぶにだっこで、外交戦略を自ら作ることをせず、示威的行動もとれない状況に陥ってしまったという感を否めません。



これらの領土問題は、外交的駆け引きが求められ、相手国が起こした行動に対し日本の反応を見えています。日本は決して足元を見られて、付けられるような弱い反応をしてはいけません。

今月の言葉:

夫子の道は忠恕(ちゆうじよ)のみ。

-論語 里仁第四

一先生(孔子)の道は、忠恕のまごころだけです。忠恕-忠は、内なるまごころにそむかぬこと、恕は、まごころによる他人への思いやり。



・びとうファイナンシャルサービスのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・金融機関から完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニングについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)
代表取締役 尾藤 峰男

〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング3階

電話 : 03-6721-8386
携帯 : 090-4934-3121
FAX: 050-3156-1072
電子メール : info@bfsc.jp

弊社から皆様への情報提供ソース:

びとうファイナンシャルサービス公式ホームページ
<http://www.bfsc.jp>

毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ!
申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

書評ブログ-平日毎日更新
<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを
—びとうファイナンシャルサービスの大切な役割

フェイスブック上場のその後

今年3月時点で世界の利用者は9億人を超え、世界的に交流サイトとして重要性が増しているフェイスブック。私も大いに活用しているソーシャルメディアです。フェイスブックが5月18日鳴り物入りで上場し、3ヶ月半になりました。さて、利用者の便利なツールという観点とは別に、投資対象としてフェイスブックを見た場合にどうとらえるべきなのでしょう。

フェイスブックは、5月18日まさに鳴り物入りで米国ナスダック市場に上場し、初日は公開初値42.05ドルを付け、一時45ドルまで上昇しましたが、終値は公開価格38ドルをこらうじて上回る38.05ドルで引けました。この上場初日の株価が高値となり、現在は17.73ドル(9/4)と上場初値の42%、公開価格からも大幅な下落です。多くの日本の投資家もフェイスブックを購入したとのことですが、42ドル近辺で購入した人は多いでしょう。

Facebook,(FB) Sep.4

17.73 +0.33(-1.82%)

フェイスブックへの投資判断について、ここから非常に重要な教訓を得ることができます。

・熱狂に飲まれるな

マスコミ・メディアが様々なニュースや投資情報を流しますが、これらが共鳴効果を発揮し、熱狂的の雰囲気をかもし出します。そのため「バスに乗り遅れるな」的投資行動に機関投資家や個人が走るようになるのです。「みんなで渡れば怖くない」は投資には通用しません。

・高い話題性・知名度と業績は別

フェイスブックは世界中で利用者が急拡大し、われわれユーザーも大いに活用しているため、投資判断が前向きに傾きがちですが、投資に値する業績を上げられるか、今後も継続して成長し続けるか、冷静な分析が必要です。

私ども、びとうファイナンシャルサービスは、フェイスブックの投資につきお客様への推奨を検討しましたが、以上の判断から取りやめました。

余談ですが、大手証券会社の営業マンから「大変な人気のフェイスブック、いかがですか？」と勧められました。証券会社は今後の有望性、株価の価値判断とは関係なく、人気があり注文をとりやすい銘柄を勧め、手数料を稼ぐことだけを考えていることをよく肝に銘じておくといえましょう。

このフェイスブックの教訓は、けっして周囲に流されずに冷静に判断することが求められるということです。

第19回『退職金や金融資産をしっかりと運用するためのセミナー』を開催します！

—こうすればセカンドライフを豊かに過ごすことができる—

大切な資産運用で、本当のことを知るのはいへんむずかしくなっています。いい情報も危ない情報もあふれ、手数料収入を何とか取り込もうとしてリスクの高い金融商品を売り込む金融機関や証券会社、FX会社、商品先物会社の営業活動はますます激しくなっています。思わぬリスクの高い商品を勧められ、取り返しの付かない損を被ることも珍しくありません。

日本の将来が不透明感を強める中、国の制度や周囲に頼ることはできません。自分でしっかり判断して、人生を切り開いていく必要があります。資産運用もまさにその通り。このセミナーで、他では絶対に聞けない、人生を安心して過ごせる「正しい資産運用法」をぜひ学んでください。きっとかけがいのない時間となることでしょう。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザー尾藤 峰男だから語れる「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」をお話します！

◆ このセミナーで「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」がわかる！ ◆

日時: 2012年9月29日(土) 15:00~17:00

場所: TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml>

(最寄り駅: 有楽町・日比谷駅)

~参加料1000円(当日支払い) 限定10名~

申し込みは、下記メールまたは電話にて「9月29日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール: info@bfsc.jp

Tel: 03-6721-8386



講師: 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

プロフィール:

米国CFA協会認定証券アナリスト、CFPR、日本証券アナリスト協会検定会員、1級FP技能士、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーとして、個人の金融資産や退職金の運用助言・ライフプランニングサービスを提供する。2000年当社設立。グローバルな投資理論や外国株投資・国際分散投資への造詣が深い。日本経済新聞、週刊東洋経済、日経マネーなどへのコメント多数。日経CNBCにもたびたび出演。著書に「いまこそ始めよう 外国株投資入門」日本経済新聞出版社。投資助言・代理業として関東財務局登録。